



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 カシオ計算機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6952 URL <https://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 櫻尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 高野 晋 TEL 03-5334-4852

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	227,440	19.0	15,372	47.1	16,321	42.7	12,014	31.7
2020年3月期	280,750	5.8	29,064	4.0	28,481	4.7	17,588	20.5

(注) 包括利益 2021年3月期 20,203百万円 (193.7%) 2020年3月期 6,878百万円 (60.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	49.52		5.8	4.9	6.8
2020年3月期	72.23		8.5	8.2	10.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 27百万円 2020年3月期 153百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	332,028	211,895	63.8	873.42
2020年3月期	334,100	202,539	60.6	834.98

(参考) 自己資本 2021年3月期 211,895百万円 2020年3月期 202,539百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	24,587	3,116	22,950	137,053
2020年3月期	33,047	1,695	24,915	134,314

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		22.50		22.50	45.00	10,916	62.3	5.3
2021年3月期		22.50		22.50	45.00	10,917	90.9	5.3
2022年3月期(予想)								

(注) 2022年3月期の配当予想額は未定であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	20.4	10,000	137.4	9,000	97.0	6,000	14.9	24.73
通期	265,000	16.5	26,500	72.4	24,500	50.1	17,000	41.5	70.07

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	259,020,914 株	2020年3月期	259,020,914 株
期末自己株式数	2021年3月期	16,416,422 株	2020年3月期	16,453,020 株
期中平均株式数	2021年3月期	242,591,244 株	2020年3月期	243,489,797 株

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、添付資料P.13「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	161,287	24.0	2,454		7,028	62.8	8,366	41.2
2020年3月期	212,167	5.5	8,953	15.0	18,912	11.8	14,231	22.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	34.49	
2020年3月期	58.45	

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	265,944	165,219	62.1	681.03
2020年3月期	280,523	167,634	59.8	691.08

(参考) 自己資本 2021年3月期 165,219百万円 2020年3月期 167,634百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(注)個別業績については、百万円未満切捨て表示となっております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 役員の変動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当期における内外経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、個人消費や企業の生産活動を中心に景気が低迷し、極めて厳しい状況が継続しました。地域別には、中国経済が順調な回復を見せるとともに、米国が緩やかな回復傾向となった一方で、日本・欧州・アジア新興国では感染の再拡大の影響により、経済活動の制限が長期化し、依然として先行き不透明な状況が続いています。

この環境下、当期の売上高は、コンシューマが2,040億円、システムが186億円、その他が47億円で2,274億円となりました。

時計は「G-SHOCK」のメタルラインが引き続き好調に推移したほか、ワークアウトに最適なG-SQUADが欧米を中心に拡大しました。楽器は、「巣ごもり需要」をとらえた「Slim&Smart」モデルの売上が拡大するなど、増収となりました。教育関数は、一部地域で学校休校の影響により減収となり、電子辞書は、需要回復傾向にあるものの、学生向けモデルで買い控え影響があり減収となりました。また、システムはコロナ影響による需要減退で減収となりました。

損益につきましては、営業利益は、売上高の減少の影響を受け、コンシューマが285億円、システムが△48億円、その他が2億円、調整額が△85億円で153億円となりました。

時計は収益性の高い製品の販売が好調に推移することで高収益性を維持し、楽器は構造改革の早期完遂により収益構造が大幅に改善した上、「Slim&Smart」モデルの好調を受けて収益性が向上しました。一方で、システムはプロジェクターの既存市場展開から次世代プロジェクト領域への完全転換を図る構造改革などにより赤字となりました。

また、経常利益は163億円、親会社株主に帰属する当期純利益は120億円、1株当たり当期純利益（EPS）は49円52銭となりました。

#### (今後の見通し)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策や、各種政策の効果により、徐々に市況は回復していくと見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の動向が経済に与える影響は不透明で、予断を許さない状況です。当グループを取り巻く市場環境につきましては、依然として厳しい状況にある中、当グループは新時代を見据えて推進してまいりました全社構造改革、経営基盤の再構築により、持続的な成長を図ってまいります。

主な施策は以下の通りです。

- ① 時計事業は、「G-SHOCK」の売上構成比向上とロイヤルファン拡大、及び自社EC販売比率向上により、収益体質を強化するとともに、成長ポテンシャルの大きい新興国市場への注力で更なる売上拡大
- ② 教育事業は、あらゆる教育環境に対応した商品（ソフト、ハード）の提供で、世界の教育に貢献。楽器事業は、Enjoyment（自分で楽しむ）市場を更に顕在化させ、専門流通を強化することにより新規ユーザーを獲得し、事業拡大
- ③ 新規事業は、新時代のニーズに適応したOnly1リカーリングビジネスを始動し、早期事業化と収益貢献

- ④ デジタルマーケティングの本格稼働により、世界のユーザーと直接つながる「CASIO Global Marketing System」を活用し、ユーザー一人ひとりに合った製品やサービスを提供

現時点での2022年3月期の業績見通しは、以下の通りです。

(連結業績見通し)

売上高	2,650億円	(前期比	+ 16.5%)
営業利益	265億円	(前期比	+ 72.4%)
経常利益	245億円	(前期比	+ 50.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	170億円	(前期比	+ 41.5%)

次期の為替水準は1US\$ = 108円、1ユーロ = 126円を想定しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当期末の総資産は、受取手形及び売掛金、棚卸資産の減少などにより、前連結会計年度末比20億円減少の3,320億円、純資産は、前連結会計年度末比93億円増加の2,118億円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.2ポイント増の63.8%に上昇しました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは245億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは31億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは229億円の支出となり、その結果、当期末における現金及び現金同等物は1,370億円となり、十分な流動性資金を確保しております。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組んでまいります。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様利益を維持・拡大することを重要な経営課題と位置付けており、安定配当の維持を基本に、利益水準、財務状況、配当性向、将来の事業展開・業績見通しなどを総合的に勘案した上で、成果配分を決定しております。

上記方針を踏まえ、1株当たりの期末配当金につきましては、業績などを勘案し、22円50銭といたしました。この結果、当期の1株当たりの年間配当金は、既に実施しております中間配当金22円50銭と合わせて、45円となります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,696	94,976
受取手形及び売掛金	33,701	29,873
有価証券	48,000	45,499
製品	36,008	35,999
仕掛品	6,324	5,331
原材料及び貯蔵品	10,818	8,071
現先短期貸付金	14,999	—
その他	6,331	5,112
貸倒引当金	△491	△598
流動資産合計	227,386	224,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,741	57,639
減価償却累計額	△43,357	△43,031
建物及び構築物(純額)	15,384	14,608
機械装置及び運搬具	13,025	13,809
減価償却累計額	△10,663	△11,466
機械装置及び運搬具(純額)	2,362	2,343
工具、器具及び備品	34,430	34,662
減価償却累計額	△31,340	△31,826
工具、器具及び備品(純額)	3,090	2,836
土地	33,551	33,002
リース資産	6,825	8,045
減価償却累計額	△2,370	△4,037
リース資産(純額)	4,455	4,008
建設仮勘定	738	253
有形固定資産合計	59,580	57,050
無形固定資産		
投資その他の資産	8,459	8,663
投資有価証券	21,077	19,661
退職給付に係る資産	7,924	15,179
繰延税金資産	7,452	5,195
その他	2,285	2,055
貸倒引当金	△63	△38
投資その他の資産合計	38,675	42,052
固定資産合計	106,714	107,765
資産合計	334,100	332,028

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,603	20,920
短期借入金	186	153
1年内返済予定の長期借入金	25,000	3,634
未払金	14,626	16,885
未払費用	11,978	11,973
未払法人税等	1,454	1,828
製品保証引当金	762	740
事業構造改善引当金	918	1,342
その他	8,541	7,747
流動負債合計	87,068	65,222
固定負債		
長期借入金	37,847	49,500
繰延税金負債	1,290	1,291
事業構造改善引当金	860	600
退職給付に係る負債	1,105	558
その他	3,391	2,962
固定負債合計	44,493	54,911
負債合計	131,561	120,133
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,042	65,056
利益剰余金	118,347	119,445
自己株式	△24,875	△24,820
株主資本合計	207,106	208,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,455	4,522
為替換算調整勘定	△7,490	△3,577
退職給付に係る調整累計額	△1,532	2,677
その他の包括利益累計額合計	△4,567	3,622
純資産合計	202,539	211,895
負債純資産合計	334,100	332,028

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	280,750	227,440
売上原価	158,145	129,279
売上総利益	122,605	98,161
販売費及び一般管理費	93,541	82,789
営業利益	29,064	15,372
営業外収益		
受取利息	793	348
受取配当金	266	196
受取保険金	242	—
為替差益	—	615
その他	504	369
営業外収益合計	1,805	1,528
営業外費用		
支払利息	288	233
為替差損	1,556	—
その他	544	346
営業外費用合計	2,388	579
経常利益	28,481	16,321
特別利益		
固定資産売却益	36	4
投資有価証券売却益	3,196	6,201
特別利益合計	3,232	6,205
特別損失		
固定資産除却損	109	53
減損損失	—	161
事業構造改善費用	2,984	3,213
特別退職金	274	1,147
投資有価証券評価損	—	44
競争法関連損失	505	—
役員特別功労金	200	—
特別損失合計	4,072	4,618
税金等調整前当期純利益	27,641	17,908
法人税、住民税及び事業税	6,005	5,414
法人税等調整額	4,048	480
法人税等合計	10,053	5,894
当期純利益	17,588	12,014
親会社株主に帰属する当期純利益	17,588	12,014

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	17,588	12,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,791	67
為替換算調整勘定	△3,312	3,913
退職給付に係る調整額	△3,607	4,209
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△10,710	8,189
包括利益	6,878	20,203
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,878	20,203
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	48,592	65,058	111,757	△19,956	205,451
会計方針の変更による累積的影響額			△55		△55
会計方針の変更を反映した当期首残高	48,592	65,058	111,702	△19,956	205,396
当期変動額					
剰余金の配当			△11,616		△11,616
親会社株主に帰属する当期純利益			17,588		17,588
自己株式の取得				△5,010	△5,010
自己株式の処分		△16		91	75
連結子会社の決算期変更に伴う増減			673		673
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△16	6,645	△4,919	1,710
当期末残高	48,592	65,042	118,347	△24,875	207,106

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	8,246	△4,178	2,075	6,143	211,594
会計方針の変更による累積的影響額					△55
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,246	△4,178	2,075	6,143	211,539
当期変動額					
剰余金の配当					△11,616
親会社株主に帰属する当期純利益					17,588
自己株式の取得					△5,010
自己株式の処分					75
連結子会社の決算期変更に伴う増減					673
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3,791	△3,312	△3,607	△10,710	△10,710
当期変動額合計	△3,791	△3,312	△3,607	△10,710	△9,000
当期末残高	4,455	△7,490	△1,532	△4,567	202,539

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	48,592	65,042	118,347	△24,875	207,106
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	48,592	65,042	118,347	△24,875	207,106
当期変動額					
剰余金の配当			△10,916		△10,916
親会社株主に帰属する当期純利益			12,014		12,014
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		14		60	74
連結子会社の決算期変更に伴う増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	14	1,098	55	1,167
当期末残高	48,592	65,056	119,445	△24,820	208,273

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,455	△7,490	△1,532	△4,567	202,539
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,455	△7,490	△1,532	△4,567	202,539
当期変動額					
剰余金の配当					△10,916
親会社株主に帰属する当期純利益					12,014
自己株式の取得					△5
自己株式の処分					74
連結子会社の決算期変更に伴う増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	67	3,913	4,209	8,189	8,189
当期変動額合計	67	3,913	4,209	8,189	9,356
当期末残高	4,522	△3,577	2,677	3,622	211,895

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	27,641	17,908
減価償却費	11,767	11,076
減損損失	—	161
固定資産除売却損益 (△は益)	73	49
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,196	△6,201
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	44
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	555	△571
受取利息及び受取配当金	△1,059	△544
支払利息	288	233
為替差損益 (△は益)	△1,212	△951
持分法による投資損益 (△は益)	153	27
売上債権の増減額 (△は増加)	9,511	4,792
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,211	5,587
仕入債務の増減額 (△は減少)	△751	△3,042
未払又は未収消費税等の増減額	△551	164
その他	△277	392
小計	41,731	29,124
利息及び配当金の受取額	1,096	599
利息の支払額	△286	△233
特別退職金の支払額	△2,601	△274
法人税等の支払額	△6,893	△4,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,047	24,587
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△388	△374
定期預金の払戻による収入	398	362
有形固定資産の取得による支出	△5,122	△3,620
有形固定資産の売却による収入	75	553
無形固定資産の取得による支出	△4,760	△4,706
投資有価証券の取得による支出	△8	△6,007
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,749	10,648
関係会社の清算による収入	2,304	—
その他	57	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,695	△3,116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△46	△33
長期借入れによる収入	4,000	15,000
長期借入金の返済による支出	—	△25,000
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△5,011	△7
自己株式の売却による収入	0	—
リース債務の返済による支出	△2,242	△1,994
配当金の支払額	△11,616	△10,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,915	△22,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,474	4,218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,963	2,739
現金及び現金同等物の期首残高	132,208	134,314
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,857	—
現金及び現金同等物の期末残高	134,314	137,053

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品、サービスの内容及び販売市場、顧客の種類により「コンシューマ」、「システム」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品及びサービスの種類は次のとおりであります。

コンシューマ…ウオッチ、クロック、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器等  
システム………ハンディターミナル、電子レジスター、経営支援システム、データプロジェクター等  
その他………成形部品、金型等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。セグメント間の内部収益は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	245,059	30,110	5,581	280,750	—	280,750
(2) セグメント間の内部 売上高	1	65	5,948	6,014	△6,014	—
計	245,060	30,175	11,529	286,764	△6,014	280,750
セグメント利益 又は損失(△)	39,025	△2,702	337	36,660	△7,596	29,064
セグメント資産	179,041	30,686	14,963	224,690	109,410	334,100
その他の項目						
減価償却費	8,532	2,032	357	10,921	846	11,767
のれんの償却額	61	11	—	72	—	72
持分法適用会社への投資額	—	—	258	258	—	258
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,581	2,004	303	14,888	708	15,596

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,596百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,596百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。
- セグメント資産の調整額109,410百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産109,455百万円が含まれております。
- 減価償却費の調整額846百万円は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産の減価償却費であります。
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額708百万円は、報告セグメントに帰属しない管理部門の設備投資額であります。

- セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	204,003	18,682	4,755	227,440	—	227,440
(2) セグメント間の内部 売上高	0	38	6,298	6,336	△6,336	—
計	204,003	18,720	11,053	233,776	△6,336	227,440
セグメント利益 又は損失 (△)	28,531	△4,849	288	23,970	△8,598	15,372
セグメント資産	186,638	25,809	14,057	226,504	105,524	332,028
その他の項目						
減価償却費	8,144	1,937	336	10,417	659	11,076
のれんの償却額	61	—	—	61	—	61
持分法適用会社への投資額	—	—	231	231	—	231
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,539	1,593	292	8,424	1,065	9,489

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△8,598百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,598百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額105,524百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産105,565百万円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額659百万円は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,065百万円は、報告セグメントに帰属しない管理部門の設備投資額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	834円98銭	1株当たり純資産額	873円42銭
1株当たり当期純利益	72円23銭	1株当たり当期純利益	49円52銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	202,539	211,895
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	202,539	211,895
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	242,568	242,604

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	17,588	12,014
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	17,588	12,014
普通株式の期中平均株式数(千株)	243,490	242,591

## (重要な後発事象)

## (報告セグメントの変更)

従来、セグメント情報における報告セグメントについては、「コンシューマ」「システム」「その他」の3区分としておりましたが、2022年3月期より「時計」「コンシューマ」「システム」「その他」の4区分に変更することといたしました。

主な変更点としては、「コンシューマ」を「時計」及び「コンシューマ」に区分いたします。

なお、変更後の報告セグメントの区分によった場合の当連結会計年度の報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報は現在算定中であります。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

##### 1. 新任取締役候補 (2021年6月29日予定)

取締役	なか やま じん 中山 仁 (現 専務執行役員 CHRO)
-----	-------------------------------------

注) 中山氏の取締役就任については、2021年1月29日開催の取締役会にて決議の上、既に発表済であります。

尚、2021年6月29日開催予定の取締役会にて決議の上、代表取締役に就任予定です。

取締役監査等委員 (常勤)	やま ぐち あき ひこ 山口 昭彦 (現 営業本部 BPR企画推進部長)
---------------	--------------------------------------------

##### 2. 退任予定取締役 (2021年6月29日予定)

取締役監査等委員 (常勤)	うち やま とも ゆき 内山 知之
---------------	----------------------

以上